



社会保険労務士法人つむぎ

つむぎだより No.23

＝目標は…焼肉？＝

1月15日のスイーツビュッフェが終わると、K氏の体重は少しずつ増え始めました。(とても分かりやすいです)。本人曰く「目標がないとダメ！」ということで、考えた結果、新たな目標を作りました。

それは、『期間内に目標体重を切ることが出来れば、私が焼き肉を奢る』というものです。切らなければ、反対に私が奢ってもらえる、ということになりました。期限は3月15日です。

その話が決まった日からK氏のモチベーションはアップ！ただし、バレンタインデーなどもあり、誘惑は尽きない状況。

現在、K氏の体重は、大きな上昇はなくなったものの、現状維持が続いています。期日までどうなるかは、まだ分かりません。後は、彼が誘惑に勝てるかどうか…の問題ですね。

個人的には、奢ってもらう気満々で体調を整えていくつもりです！！(川東)

1、会社主導の異動には十分な情報提供が活躍のカギ

新年度も間近となり、人事異動の検討・実施がされる頃かと思います。今回は、パーソル総合研究所が実施した「一般社員層(非管理職層)における異動配置に関する定量調査」(実施期間2021年7月21日～8月1日)より、会社主導による異動配置を行う際に、会社に求められる点を紹介します。

◆(調査結果)異動を知らされた時

調査結果では、会社主導の異動について、「納得していない、かつネガティブに受け取った」層は25.4%でした。また、上司から「異動の理由について、十分な説明があった」とした層は、40%に留まっています。

◆異動後の活躍・適合を促進した要因

ただし、同分析では、以下のような要因があれば、本人の異動に対する肯定的な受け止め方を高め、「今までの経験を活かして活躍できそう」などの前向きな気持ちも高まり、異動後の活躍・適合度が促進されることも、示唆されています。

○上司・組織による異動理由の十分な説明があった

○異動後の上司から、新しい役割・期待感を伝えるなどのコミュニケーションがあった

○異動後の上司に今後のキャリアについて相談ができた

○異動後の上司が、本人のスキルや経験・知識を把握してくれた

○異動後の上司が、本人の強みや弱みを理解しようとしてくれた

異動に際しては、その理由、本人への期待を、丁寧に説明することが重要ですが、異動後も適切な情報提供、コミュニケーションの促進が、その後の活躍のカギとなるようです。

【パーソル総合研究所「一般社員層(非管理職層)における異動配置に関する定量調査」調査結果】

<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/assets/personnel-relocating.pdf>



★各種保険料率の変更★

★協会けんぽの健康保険料率、介護保険料率は令和4年3月分より変更となります。料率等詳細は、協会けんぽからの案内をご参照下さい。

★雇用保険料は2段階引き上げです。

4月:会社負担分のみ変更

(0.3%→0.35%)

10月:本人負担分も変更

(0.3%→0.5%)

＝季節のコラム＝

3月3日は、ひな祭り。
ひなあられやちらし寿司
などで祝いますね。

関東の「ちらし寿司」は、
白い酢飯の上に、にぎり
寿司に用いる寿司ダネを
並べたものを指しますが、
一般には、酢飯に調味し
た具材を混ぜ込み、錦糸
卵や海苔などで飾り付け
をしたものですね。干し椎
茸や干瓢の煮しめなどを
ベースに、茹でたニンジ
ン、酢蓮根、筍、竹輪や
蒲鉾、甘く煮しめた油揚
げや高野豆腐など手間
暇をかけて作ります。

「寿司」自体は、もともと
は魚を保存食とするため
に、塩と飯で漬け込み熟
成させる「なれずし」から
出来た鮓（酸し）という食
品でしたが、「寿（ことぶき）
を司（つかさどる）」という意
味も持つ、お祝いの料理
でもあります。（鹿島）



社会保険労務士法人つむぎ

〒540-0012

大阪市中央区谷町2丁目1番22号

フェアステージ大手前ビル7階

電話: 06-4397-3358

FAX: 06-4397-3359

Email: info@sr-tsumugi.or.jp

営業時間

平日 9:00～18:00

HP: <https://sr-tsumugi.or.jp/>

2、BCP(事業継続計画)に対する企業の意識

◆「オミクロンを機に策定」が約3割

帝国データバンクが行った調査の結果
によると、BCP(事業継続計画)を策定し
ていなかった企業のうち、新型コロナのオ
ミクロン株拡大を機に、策定の検討をした
企業が28.7%、一方、策定予定のない
企業は24.3%となっています。

BCP策定済みの企業は38.0%です
が、そのうち20.6%は見直しの予定が
なく、対応にはバラツキも見られるよう
です。

◆平時において危難のときを思う

オミクロン株については、これまでの変
異種に比べて、持病のある高齢者等以
外では重症化する割合は少ない、とみら
れており、従来の対応のままで様子見、と
いう企業も多いのでしょうか。

ただ、BCPは感染症対策だけではなく、
災害、システム障害や不祥事といった、
危機的状況にも備えるものです。コロナ対
応が一段落しているのであれば、次の対
策にも取り組みましょう。地震・火山噴火

等、災厄はまさかというタイミングにこそ起
きがちです。「平時において危難のときを思
う」の心掛けで備えておくべきでしょう。

◆会社の責任として

従業員の安全配慮に義務がある会社の
責任として、BCPは状況に合わせて継続
的に見直していく必要があります。見直し
過程で、業務の非効率な部分や無駄を発
見できるかもしれません。

社内だけでなく、取引先からの信頼向上
にもつながりますので、この機会に策定に
取り組んでみてはいかがでしょうか。

【事業継続計画(BCP)に関する企業の動
向アンケート】

<https://www.tdb-di.com/special-planning-survey/oq20220118.php>



3、今月のおすすめ本

今月は、『渋沢栄一「論語」の読み方』
(著者; 渋沢栄一 編集; 竹内 均)をご
紹介します。

昨年大河ドラマで脚光を浴びた、「渋
沢栄一」は皆さんご存知だと思います。
「論語と算盤」という書籍は大抵の方が
知っておられるかと思いますが、今回はそ
の本ではなく、「論語を渋沢栄一がどんな
ふうにしたか」ということが記載された
本です。

論語の文章はとてもシンプルですが、
解説が丁寧に記載されており、渋沢栄一
がどんなふうにしたかを活用し、考え、行動
していたのかも、知ることができます。

「論語は難しい」と考えておられる方には

もってこいですね。

価値観は人それぞれだと思います
が、渋沢栄一の読み方、考え方を参考
に、新たな自分自身の読み方、考え方
を創っていくのも、楽しいのではないかと
思います。

長く活用できる1冊です！！(川東)

